

大学番号：公001

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部を設置

注1

届出

宮城大学 食産業学群

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 宮城大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

宮城大学事務部学務課

主幹 サトウ ケンジ
 佐藤 憲治

電話番号 022-377-8594

(夜間) 022-377-8594

F A X 022-377-8282

e-mail kyouiku@myu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

<食産業学群 食資源開発学類>

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

<食産業学群 フードマネジメント学類>

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	26
2. 授業科目の概要	30
3. 施設・設備の整備状況、経費	34
4. 既設大学等の状況	35
5. 教員組織の状況	36
6. 留意事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人宮城大学

(2) 大学名

宮城大学

(3) 大学の位置

〒981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学部長		(ニシカワ マサズミ) 西川 正純 (平成29年4月)	届出時には学群長が未定 であったが、学内規程に よりH29.3.22定例理事会 にて決定(29)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
食産業学群 食資源開発学類 学士(食産業学)	農学関係	4年	62人	-	248人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	62 (-) [3]	-	-	-	-	-	-	-	1.03倍	入学時は, 一部の選抜区分を除き, 食産業学群としての学群一括入試のため, 学群全体を各学類で按分して記載しており, 2年次進級時に学類を決定して収容する。なお, 入学時に学類が決定している学生は, A0入試区分入学者9名, 外国人留学生入試区分1名の計10名である。(29)
志願者数	247 (-) [3]	(-) [-]								
受験者数	145 (-) [3]	(-) [-]								
合格者数	70 (-) [1]	(-) [-]								
B 入学者数	64 (-) [1]	(-) [-]								
入学定員超過率 B/A	1.03		-		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	64 [1] (-)	- [-] (-)	1年次の在学者については、一部の選抜区分を除き、食産業学群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、2年次進級時に学類を決定して収容する。 なお、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学者9名、外国人留学生入試区分1名の計10名である。(29)						
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	64 [1] (-)	- [-] (-)							

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<食産業学群 食資源開発学類>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						備考	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	宮城大学の知の体系	1前	2									兼3	
	大学での学び入門	1前	1			+						兼1	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更(29)
	社会の中で生きる	1前	1									兼1	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)
	キャリアデザイン I	1後	1									兼1	専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更(29)
	スタートアップ・セミナー	1前	2				1	2				兼2	少人数教育実施のため担当者追加(29)
	アカデミック・セミナー	1後	2				1	2				兼2	少人数教育実施のため担当者追加(29)
	地域フィールドワーク	1前	2									兼4 兼10	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
	情報化社会と技術	1後	2									兼1 兼2	時間割編成に伴う担当者変更, 複数クラス開講のため担当者追加(29)
	データサイエンス入門	1前	2				1					兼1	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更, 複数クラス開講のため担当者追加(29)
	English Reading Skills I	1前	1									兼5 兼3	新規教員採用に伴う担当者変更, 産休による担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	English Self-Expression I	1前	1									兼5 兼2	産休による担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	English Reading Skills II	1後	1									兼5 兼3	新規教員採用に伴う担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	English Self-Expression II	1後	1									兼5 兼3	時間割編成に伴う担当者変更, 産休による担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	English for Academic Purposes I	2前	1									兼5	
	English Self-Expression III	2前	1									兼5	
	English for Academic Purposes II	2後	1	1								兼3	
	Extensive Listening	2後	1	1								兼3	
	Practical English	2前	1	1								兼3	
	中国語 I	1・2後 1・2前	1	1								兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更, 時間割編成に伴う担当者変更(29)
	中国語 II	1・2後	1	1								兼1	時間割編成に伴う担当者変更(29)
	韓国語 I	1・2前	1	1								兼1	
	韓国語 II	1・2前 1・2後	1	1								兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更(29)
	ベトナム語 I	1・2休	1	1								兼1	
	ベトナム語 II	1・2休	1	1								兼1	
	Global Studies I	1・2後 1・2前	2	2								兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更(29)
	Global Studies II	1・2前 1・2後	2	2								兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更(29)
	Intercultural Communication	1・2後	2	2								兼1	
	全学自由ゼミ	1・2休	1	1			1					兼1	副学群長に担当者変更(29)
	日本の歴史と文化	1・2後	2	2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	世界の歴史と文化	1・2前	2	2								兼1	
東北の歴史と文化	1・2前	2	2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)	
音楽	1・2後	2	2								兼1	時間割編成に伴う担当者変更(29)	
美術	1・2前	2	2								兼4 兼3	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	アートサイエンス概論	1前		1								兼9 複数領域にまたがる芸術等講義科目を追加開講、履修者なしのため本年度は未開講(29)	
	総合芸術	1集中		1								兼8 芸術等科目の実習科目を追加開講(29) 時間割編成に伴う担当者変更(29)	
	健康科学	1・2後		2								兼3	
	スポーツ科学	1・2後		2								兼1	
	スポーツ実技	1・2後		1								兼1	
	体を動かす楽しみ	1・2前		1								兼1	
	現代社会と哲学	1・2後		2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	人と宗教	1・2後		2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	心理学	1・2後		2								兼1	
	現代社会の諸相	1・2前		2								兼1	
	憲法	1・2前		2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	社会と経済	1・2前		2			1					兼4	時間割編成に伴う担当者変更(29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	数理科学	1・2後		2								兼1	
	生命科学	1・2後		2			1						
	環境科学入門	1・2前		2								兼1 兼2	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)
	地球と宇宙	1・2前		2								兼1	
	数学概論	1・2後		2								兼4 兼2	新規専任教員採用に伴う担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加(29)
	物理概論	1・2後		2								兼1	時間割編成に伴う担当者変更(29)
	化学概論	1・2前		2	2							兼4 兼2	複数クラス開講のため担当者追加(29)
	生物概論	1・2前		2	2		2	4					時間割編成に伴う担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加(29)
	基礎統計学	1後		2			1	1				兼4	時間割編成に伴う担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加(29)
	日本語Ⅰ	1前		1								兼1	
	日本語Ⅱ	1後		1								兼1	
日本語Ⅲ	2前		1								兼1		
日本語Ⅳ	2後		1								兼1		
日本事情Ⅰ	1前		2								兼1	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)	
日本事情Ⅱ	1後		2								兼1	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)	
全学共通科目	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2								兼1	
	コミュニティ・プランナー実践論	2後		2	2							兼1	
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前		2								兼1	
	グローバルインターンシップ	1・2休		2								兼1	
	学外研修	1・2休		2								兼1	
専門基礎科目	食産業学概論	1後	2			2	1					兼1	
	有機化学	2前	2									兼1	
	経済経営学基礎	2前	2					1					
	科学基礎実験	2前	1			2	1			1			
	食材生産・加工実習Ⅰ	2前	1			2				1		兼1	
	応用情報処理	2前	2									兼1	
	応用統計学	2前	2			2				1			
	キャリアデザインⅡ	2前	1								1		兼1
	インターンシップⅠ	2前	2									兼1	
	微生物学	2後	2									兼1	
	環境科学	2後	2									兼1	
	生化学	2後	2									兼1	
	専門基礎実験	2後	1			5	1						
	食材生産・加工実習Ⅱ	2後	1			2				1		兼1	
	キャリア開発Ⅰ	2後	1			1							
	食料・農業・農村政策	3前	2									兼1	
	キャリア開発Ⅱ	3前	1					1					
インターンシップⅡ	3前	1	2								兼1		
キャリア開発Ⅲ	3後	1			1								
フードコミュニケーション	4前	2									兼1		
専門科目	共通科目	食材生産概論	2前	2			1					兼1	
		生物生産環境学	3前	2								兼1	
		食材生産経営学	3後	2				1					
		アグロテクノロジー	3後	2				1					
		食と未来	4後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	合計	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	農産食品学	2・3後		2								兼1
	植物生理学	2後		2		1						
	土壌肥科学	2後		2		1						
	植物病理学	3前		2		1						
	植物育種遺伝学	3前		2			1					
	植物性食料生産学Ⅰ(食用作物)	3前		2		1						兼1
	植物性食料生産学Ⅱ(露地園芸)	3前		2			1		1			
	植物性食料生産学Ⅲ(施設園芸)	3前		2			1					
	付加価値植物性食料生産法	3後		2		1	1					兼1
	食資源開発学	3後		2		2	1					
	畜産食品学	2・3後		2								兼1
	動物生理学	2後		2		1						
	動物衛生学	2後		2		1						
	動物繁殖学	3前		2		1						
	動物育種遺伝学	3前		2		1						
	動物性食料生産学Ⅰ(乳・卵)	3前		2		1						
	動物性食料生産学Ⅱ(肉)	3前		2		1						
	動物栄養・飼料学	3前		2		2						
付加価値動物性食料生産法	3後		2		1							
循環型動物生産論	3後		2		1							
実験・実習科目	植物生産基礎実験Ⅰ	2後		1		2	1					
	動物生産基礎実験Ⅰ	2後		1		3						
	生物生産環境学実験	3前		1								兼1
	植物性食料生産実験実習Ⅰ	3前		1		2			1			兼1
	動物性食料生産実験実習Ⅰ	3前		1		2						
	植物生産基礎実験Ⅱ	3前		1		2	1					
	動物生産基礎実験Ⅱ	3前		1		3						
	植物性食料生産実験実習Ⅱ	3後		1		1	1		1			兼1
	動物性食料生産実験実習Ⅱ	3後		1		1						
	付加価値植物性食料生産実験実習	3後		1		1	1					兼1
付加価値動物性食料生産実験実習	3後		1		3							
専門関連科目	分子生物学	3前		2		4						兼1
	栄養科学	3前		2								
	分子遺伝学	3後		2		1	1					
	食品マーケティング論	3後		2								兼1
	食産業政策論	3後		2								兼1
	食品の安全性管理	3後		2								兼1
	食品機能開発学	3後		2								兼1
	企業倫理	4前		2								兼1
	食感性科学	4前		2								兼1
	水資源利用学	3前		2								兼1
	発酵食品・醸造学	3後		2								兼1
	動物発生工学	3前		2		1						
動物福祉論	3後		1								兼1	
水圏生物生産科目	水棲動物学	3前		2								兼1
	水棲植物学	3前		2								兼1
	水産利用学	3後		2								兼1
	水産資源学	3後		2								兼1
	水産増殖学	4前		2								兼1
卒業研究	卒業研究サーベイ	3後	2			9	3	1	1			兼1
	卒業研究	4通	6			9	3	1	1			兼1

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
42	95	2	139	44	95	2	141	
				[2]	[]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

<食産業学群 食資源開発学類>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{139} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	66,769 m ²	-	-	66,769 m ²			
	運動場用地	26,661 m ²	-	-	26,661 m ²			
	小 計	93,430 m ²	-	-	93,430 m ²			
	そ の 他	598,964 m ²	-	-	598,964 m ²			
	合 計	692,394 m ²	-	-	692,394 m ²			
(2) 校 舎	専 用	60,137 m ²	-	-	60,137 m ²			
	(60,137m ²)	(-)	(-)	(-)	(60,137m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	28 27 室	演 習 室 36 室	実験実習室 33 32 室	情報処理学習施設 6 室 (補助職員 人)	語学学習施設 2 室 (補助職員 人)		
	施設改修のため(29)							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	食産業学群 食資源開発学類			27 室		施設利用方法の見直しのため(29)		
	食産業学群 フードマネジメント学類			28 27 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	食産業学群	71,572 [7,268]	2,505 [280]	16,172 [13,595]	2,332	-	-	
		77,943 [9,537] (68,572 [7,118]) (-59,526 [7,017])	4,447 [552] (2,489 [268]) (-2,967 [352])	18,000 [15,700] (16,172 [13,595]) (-18,000 [15,700])	2,478 (2,212) (2,118)	(-)	(-)	
	計	71,572 [7,268] 77,943 [9,537] (68,572 [7,118]) (-59,526 [7,017])	2,505 [280] 4,447 [552] (2,489 [268]) (-2,967 [352])	16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (16,172 [13,595]) (-18,000 [15,700])	2,332 2,478 (2,212) (2,118)	(-)	(-)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	3,136m ²		304 300		274,889			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	4,897m ²		テニスコート		メモリアルホール			
			トレーニング室					
大学全体								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	231 247千円	247千円	図書購入費	66,728千円	64,426 66,728千円	66,728千円
	共同研究費等	51,000千円	51,000千円	設備購入費	51,776千円	41,639 51,776千円	51,776千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		県内 818千円 県外 1,100千円	535千円	535千円	535千円	-	-	
学生納付金以外の維持方法の概要			大学の維持運営に当たって、学生納付金で不足する経費については、宮城県の運営費交付金等を充当する。					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	宮城大学						備 考		
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員 年 次 人	編入学 員 年 次 人	収 容 定 員 人	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率 倍	開 設 年 度	所 在 地	
事業構想学部								宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	平成29年度より 学生募集停止
事業計画学科	4	100	-	400	学士 (事業計画学)	-	平成9年度		平成29年度より 学生募集停止
デザイン情報学科	4	100	-	400	学士 (デザイン 情報学)	-	平成9年度		平成29年度より 学生募集停止
食産業学部								宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	平成29年度より 学生募集停止
ファームビジネス学科	4	42	-	168	学士 (食産業学)	-	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
フードビジネス学科	4	52	-	208	学士 (食産業学)	-	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
環境システム学科	4	31	-	124	学士 (食産業学)	-	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
看護学群								宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	平成29年度より 看護学部から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
看護学類	4	95	5	380	学士 (看護学)	1.04	平成9年度		平成29年度より 看護学部から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
事業構想学群								宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	入学時は、一部の選抜区分 を除き、事業構想学群とし ての学群一括入試のため、 学群全体を各学類で按分し て記載しており、2年次進 級時に学類を決定して収容 する。
事業プランニング学類	4	60	-	240	学士 (事業プラン ニング学)	1.05	平成29年度		
地域創生学類	4	60	-	240	学士 (地域創生学)	1.05	平成29年度		
価値創造デザイン学類	4	80	-	320	学士 (価値創造 デザイン学)	1.05	平成29年度		
食産業学群								宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	入学時は、一部の選抜区分 を除き、食産業学群とし ての学群一括入試のため、 学群全体を各学類で按分し て記載しており、2年次進 級時に学類を決定して収容 する。
食資源開発学類	4	62	-	248	学士 (食産業学)	1.03	平成29年度		
フードマネジメント学類	4	63	-	252	学士 (食産業学)	1.05	平成29年度		
看護学研究科 看護学専攻								宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
博士課程前期2年課程	2	10	-	20	修士 (看護学)	0.95	平成13年度		
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (看護学)	0.99	平成22年度		
事業構想学研究科 事業構想学専攻								宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
博士課程前期2年課程	2	20	-	40	修士 (事業構想学)	0.62	平成13年度		
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (事業構想学)	0.88	平成20年度		
食産業学研究科 食産業学専攻								宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	
博士課程前期2年課程	2	13	-	26	修士 (食産業学)	0.61	平成21年度		
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (食産業学)	0.55	平成25年度		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

・A・C対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<食産業学群 食資源開発学類>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	井上達志(56)	平成29年4月					卒業研究サーベイ 卒業研究 食産業学概論 ※ 食材生産・加工実習Ⅰ 食材生産概論 動物性食材生産学Ⅰ(乳・卵) 動物栄養・飼料学 付加価値動物性食材生産法 動物性食材生産実験実習Ⅰ 動物性食材生産実験実習Ⅱ 付加価値動物性食材生産実験実習 食と未来 食材生産・加工実習Ⅱ	
				専	教授	井上達志(56)	平成29年4月	全学自由ゼミ	副学群長に担当者変更(29)
専	教授	大竹秀男(60)	平成29年4月					卒業研究サーベイ 卒業研究 食資源開発学 動物栄養・飼料学 循環型動物生産論 付加価値動物性食材生産実験実習 食材生産・加工実習Ⅰ 科学基礎実験 動物性食材生産学Ⅱ(肉) 食材生産・加工実習Ⅱ	
専	教授	木村和彦(55)	平成29年4月					卒業研究サーベイ 卒業研究 大学での学び入門 スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 全学自由ゼミ 土壌肥科学 植物生産基礎実験Ⅰ 植物生産基礎実験Ⅱ 専門基礎実験 応用統計学	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更(29) 学群の科目とりまとめの教員へ変更(29) 学群の科目とりまとめの教員へ変更(29) 副学群長に担当者変更(29)
				兼任	教授	蒔苗耕司(52)	平成29年4月	大学での学び入門	
				専	教授	中村茂雄(54)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	
				専	教授	井上達志(56)	平成29年4月	全学自由ゼミ	
専	教授	小林仁(56)	平成29年4月					卒業研究サーベイ 卒業研究 キャリア開発Ⅰ 動物繁殖学 動物生産基礎実験Ⅰ 動物生産基礎実験Ⅱ 専門基礎実験 動物発生工学	
				専	教授	小林仁(56)	平成29年4月	生物概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)
専	教授	中村聡(49)	平成29年4月					卒業研究サーベイ 卒業研究 植物性食材生産学Ⅰ(食用作物) 食産業学概論 ※ 植物性食材生産実験実習Ⅰ 植物性食材生産実験実習Ⅱ 食資源開発学 応用統計学	
専	教授	中村茂雄(54)	平成29年4月					卒業研究サーベイ 卒業研究 植物病理学 付加価値植物性食材生産法 植物性食材生産実験実習Ⅰ 付加価値植物性食材生産実験実習 分子生物学	
				専	教授	中村茂雄(54)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	学群の科目とりまとめの教員へ変更(29) 学群の科目とりまとめの教員へ変更(29)
専	教授	森本素子(53)	平成29年4月					卒業研究サーベイ 卒業研究 動物生理学 動物衛生学 動物生産基礎実験Ⅰ 動物生産基礎実験Ⅱ 専門基礎実験 分子生物学	
専	教授	岩井孝尚(50)	平成29年4月					卒業研究サーベイ 卒業研究 植物生理学 植物生産基礎実験Ⅰ 植物生産基礎実験Ⅱ 専門基礎実験 分子生物学	
				専	教授	岩井孝尚(50)	平成29年4月	生物概論	時間割編成に伴う担当者変更(29)

設置時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	教授	須田義人(48)	平成29年4月		専	教授	須田義人(48)	平成29年4月	基礎統計学	時間割編成に伴う担当者変更(29)
				卒業研究サーベイ 卒業研究 キャリア開発Ⅲ 科学基礎実験 動物育種遺伝学 動物生産基礎実験Ⅰ 動物生産基礎実験Ⅱ 専門基礎実験 動物性食料生産実験実習Ⅰ 付加価値動物性食料生産実験実習 分子生物学 分子遺伝学					データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加(29)
専	准教授	川島滋和(45)	平成29年4月		専	准教授	川島滋和(45)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
				卒業研究サーベイ 卒業研究 食産業学概論 ※ キャリア開発Ⅱ 食料生産経営学					基礎統計学 社会と経済	複数クラス開講のため担当者追加(29) 時間割編成に伴う担当者変更(29)
専	准教授	菊地(今野)郁(43)	平成29年4月		専	准教授	菊地郁(43)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
				卒業研究サーベイ 卒業研究 科学基礎実験 植物性食料生産学Ⅲ(施設園芸) 食資源開発学 アグロテクノロジー 植物性食料生産学Ⅱ(露地園芸) 植物性食料生産実験実習Ⅱ						
専	准教授	日渡祐二(45)	平成29年4月		専	教授	岩井孝尚(50)	平成29年4月	生物概論	時間割編成に伴う担当者変更(29)
				卒業研究サーベイ 卒業研究 生命科学 生物概論 植物育種遺伝学 植物生産基礎実験Ⅰ 植物生産基礎実験Ⅱ 専門基礎実験 付加価値植物性食料生産実験実習 付加価値植物性食料生産法 分子遺伝学						
専	講師	紺屋直樹(46)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 経済経営学基礎 応用統計学						
専	助教	斎藤秀幸(49)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 キャリアデザインⅡ 科学基礎実験 食料生産・加工実習Ⅰ 植物性食料生産学Ⅱ(露地園芸) 植物性食料生産実験実習Ⅰ 植物性食料生産実験実習Ⅱ 食料生産・加工実習Ⅱ						
兼担	教授	吉田俊子(53)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※						
兼担	教授	風見正三(57)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※ 地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー概論及び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習						
兼担	教授	西川正純(57)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※ 食品の安全性管理 水棲植物学 食品機能開発学 水産利用学						
兼担	教授	徳永幸之(57)	平成29年4月	社会の中で生きる	兼担	教授	藤澤由和(48)	平成29年4月	社会の中で生きる	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)
兼担	教授	川村保(59)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	兼任	講師	須藤祐子(42)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ	専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更(29)
兼担	教授	茅原拓朗(48)	平成29年4月	情報化社会と技術	兼担	准教授	高橋信人(40)	平成29年4月	情報化社会と技術	時間割編成に伴う担当者変更(29)
				データサイエンス入門	兼担	准教授	萩原潤(45)	平成29年4月	データサイエンス入門	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)
兼担	教授	MATTHEW WILSON(44)	平成29年4月	English Reading Skills I	兼担	准教授	川井一枝(58)	平成29年4月	English Reading Skills I	新規教員採用に伴う担当者変更(29)
				English Self-Expression I						
				English Reading Skills II	兼担	准教授	川井一枝(58)	平成29年4月	English Reading Skills II	新規教員採用に伴う担当者変更(29)
				English Self-Expression II English for Academic Purposes I English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English						

設置時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
兼任	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	平成29年4月	Global Studies I Global Studies II Intercultural Communication グローバルインターンシップ 学外研修						
兼任	教授	長澤治夫 (64)	平成29年4月	健康科学 ※						
兼任	講師	長澤治夫 (65)	平成30年4月	健康科学 ※						
兼任	教授	真覚健 (58)	平成29年4月	健康科学 ※						
兼任	教授	山田嘉明 (61)	平成29年4月	心理学						
兼任	教授	原田茂樹 (54)	平成29年4月	環境科学入門 環境科学 インターンシップII						
兼任	教授	河西敏幸 (49)	平成29年4月	スポーツ科学 スポーツ実技 体を動かす楽しみ	兼任	教授	河西敏幸 (49)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
兼任	教授	弓谷行宏 (61)	平成29年4月	日本語 I 日本語 II 日本語 III 日本語 IV 日本事情 I 日本事情 II	兼任	准教授	山本まゆみ (57)	平成29年4月	日本事情 I 日本事情 II	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29) 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)
兼任	教授	三石誠司 (56)	平成29年4月	企業倫理						
兼任	教授	郷古雅春 (57)	平成29年4月	水資源利用学	兼任	教授	郷古雅春 (57)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
兼任	教授	笠原紳 (52)	平成29年4月	水産資源学 水産増殖学	兼任	教授	笠原紳 (52)	平成29年4月	環境科学入門 化学概論	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 複数クラス開講のため担当者追加(29)
兼任	教授	神宮宇寛 (49)	平成29年4月	生物生産環境学 生物生産環境学実験						
兼任	准教授	石田祐 (37)	平成29年4月	現代社会の諸相						
兼任	准教授	金子浩一 (44)	平成29年4月	社会と経済	専	准教授	川島滋和 (45)	平成29年4月	社会と経済	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	小島(栗田)さつき (41)	平成29年4月	English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English	兼任	講師	菅原真理 (57)	平成29年4月	English Reading Skills I	産休による担当者変更(29)
					兼任	講師	CRAIG MCDONALD (44)	平成29年4月	English Self-Expression I	産休による担当者変更(29)
					兼任	講師	CRAIG MCDONALD (44)	平成29年4月	English Reading Skills II	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
					兼任	講師	CRAIG MCDONALD (44)	平成29年4月	English Self-Expression II	産休による担当者変更(29)
兼任	准教授	曾根洋明 (54)	平成29年4月	English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English					English Reading Skills I	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
									English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
									English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
兼任	准教授	山本まゆみ (57)	平成29年4月	世界の歴史と文化	兼任	准教授	山本まゆみ (57)	平成29年4月	日本事情 I 日本事情 II	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29) 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)
兼任	准教授	土岐謙次 (48)	平成29年4月	美術	兼任	准教授	土岐謙次 (48)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
兼任	准教授	萩原潤 (45)	平成29年4月	基礎統計学	専	教授	須田義人 (48)	平成29年4月	基礎統計学	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	高橋信人 (40)	平成29年4月	地球と宇宙	兼任	准教授	萩原潤 (45)	平成29年4月	データサイエンス入門	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)
兼任	准教授	原田鑑一郎 (50)	平成29年4月	物理概論	兼任	教授	高橋信人 (40)	平成29年4月	情報化社会と技術	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	原田鑑一郎 (50)	平成29年4月	物理概論	兼任	教授	富樫千之 (63)	平成29年4月	物理概論	時間割編成に伴う担当者変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	菺田俊一(47)	平成29年4月	化学概論 有機化学	兼任	准教授	菺田俊一(47)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
兼任	准教授	白川愛子(54)	平成29年4月	健康科学 ※ 栄養科学 食感性科学 畜産食品学 農産食品学	兼任	教授	石川伸一(43)	平成29年4月	健康科学	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	石川伸一(43)	平成29年4月		兼任	教授	石川伸一(43)	平成29年4月	健康科学	業績追加による昇格(29) 時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	老川信也(57)	平成29年4月	応用情報処理	兼任	准教授	老川信也(57)	平成29年4月	情報化社会と技術	複数クラス開講のため担当者追加(29)
兼任	准教授	金内誠(45)	平成29年4月	食産業学概論 ※ 発酵食品・醸造学 微生物学 生化学	兼任	教授				業績追加による昇格(29)
兼任	准教授	都世蘭(59)	平成29年4月	食品マーケティング論						
兼任	准教授	森田明(52)	平成29年4月	食料・農業・農村政策 食産業政策論						
兼任	講師	伊吹竜太(40)	平成29年4月	インターンシップ I						
兼任	講師	佐藤麗(41)	平成29年4月	English Reading Skills I						
				English Self-Expression I					English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English Reading Skills II						
				English Self-Expression II					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English for Academic Purposes I English Self-Expression III						
兼任	助教	MATTHEW NALL(33)	平成29年4月	English Reading Skills I					English Reading Skills I	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English Self-Expression I					English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English Reading Skills II					English Reading Skills II	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English Self-Expression II	兼任	講師	JERRY MILLER(44)	平成29年4月	English Self-Expression II	時間割編成に伴う担当者変更(29)
				English for Academic Purposes I English Self-Expression III						
兼任	講師	齋藤満保(65)	平成30年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 食材生産・加工実習 I 食材生産概論 植物性食材生産学 I (食用作物) 付加価値植物性食材生産法 植物性食材生産実験実習 I 植物性食材生産実験実習 II 付加価値植物性食材生産実験実習 食材生産・加工実習 II						
兼任	講師	叢莉蔓(48)	平成29年4月	中国語 I 中国語 II	兼任	講師	西貝定行(50)	平成29年4月	中国語 I 中国語 II	時間割編成に伴う担当者変更(29) 時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	黄考善(49)	平成29年4月	韓国語 I 韓国語 II						
兼任	講師	VU THUY MINH CHAU(43)	平成29年4月	ベトナム語 I ベトナム語 II						
兼任	講師	伊藤大介(43)	平成29年4月	日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	兼任	准教授	三好俊文(41)	平成29年4月	日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	佐藤寿一(56)	平成29年4月	音楽	兼任	講師	渡部勝彦(71)	平成29年4月	音楽	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	佐藤駿(33)	平成29年4月	現代社会と哲学	兼任	准教授	菅原謙(52)	平成29年4月	現代社会と哲学	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	木村敏明(50)	平成29年4月	人と宗教						新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	曾我洋介(39)	平成29年4月	憲法	兼任	講師	仲宗根卓(35)	平成29年4月	憲法	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	小野秀壽(63)	平成29年4月	数理科学 数学概論	兼任	准教授	三浦幸平(39)	平成29年4月	数理科学 数学概論	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	池戸重信(70)	平成32年4月	フードコミュニケーション						
兼任	講師	菅原康雄(70)	平成31年4月	動物福祉論						
兼任	講師	GLEADALL IAN(62)	平成31年4月	水棲動物学						
					兼任	教授	平岡善浩(50)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	教授	舟引敏明(59)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	佐々木秀之(41)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	千葉克己(46)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	三浦幸平(39)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	菅原謙(52)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	三好俊文(41)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	講師	仲宗根卓(35)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	毛利哲(52)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
					兼任	教授	中田千彦(48)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	教授	鹿野護(44)	平成29年4月	アートサイエンス概論	追加開講科目(29)
					兼任	講師	渡部晴彦(71)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	相澤富美江(52)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	高山登(72)	平成29年4月	アートサイエンス概論 美術 総合芸術	追加開講科目(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	青野文昭(49)	平成29年4月	アートサイエンス概論 美術 総合芸術	追加開講科目(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	渡辺誠一郎(66)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	上野晴夫(62)	平成29年4月	数学概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	3	1	1	14	9	3	1	1	14	9	3	1	1	14
(9)	(3)	(1)	(1)	(14)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

<食産業学群 食資源開発学類>

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし								
合計（A）					後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし								

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし								
合計（A）					後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし								

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A） + (C)		後任補充状況の集計（B） + (D)		
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当なし				

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (H28年4月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<食産業学群 食資源開発学類>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成28年4月より、教育推進機構を設置し、全学的な教学マネジメントを実施している。特に機構下部組織のカリキュラムセンターが教員の資質の維持向上の方策について所掌しており、授業評価アンケート、シラバスの改善、FD・SDの企画・運営を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<カリキュラムセンター運営会議>

平成28年度は13回開催

第1回 平成28年4月27日

第2回 平成28年5月11日

第3回 平成28年5月25日

第4回 平成28年6月22日

第5回 平成28年7月27日

第6回 平成28年8月24日

第7回 平成28年9月28日

第8回 平成28年10月26日

第9回 平成28年11月30日

第10回 平成28年12月21日

第11回 平成29年1月25日

第12回 平成29年2月21日

第13回 平成29年3月22日

c 委員会の審議事項等

<カリキュラムセンター運営会議>

平成28年度

第1回 平成28年4月27日

1 役割分担と今後のスケジュール等について

2 ディプロマ・カリキュラム・アドミッションポリシーの策定について

3 平成28年度前期授業評価等について

4 フレッシュマンコア等の教材開発の進捗について

5 文部科学省への届出等の提出について

6 文部科学省補助事業「AP事業」の申請について

第2回 平成28年5月11日

1 科目分野別課題共有

2 平成28年度前期授業評価等について

- 第3回 平成28年5月25日
- 1 カリキュラムセンターの主項目及び科目分野別業務工程表について
 - 2 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー策定について
 - 3 科目分野別の課題について
 - 4 基盤教育科目の教材開発について
 - 5 平成28年度 FD・SDの実施計画について
 - 6 学類選択スキームと成績評価等（GPA）について
- 第4回 平成28年6月22日
- 1 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー（案）について
 - 2 各学群での取得可能資格の申請手続き等について
 - 3 学類選択フローの考え方について
 - 4 新カリキュラム（フレッシュマンコア）科目担当教員の配置と教材開発等について
 - 5 平成28年度補正予算・平成29年度当初予算策定に向けて
 - 6 平成29年度非常勤教員任用方針及び予算編成について
 - 7 平成28年度 FD・SDの実施計画について
 - 8 平成28年度前期 授業評価アンケート実施について
 - 9 3大学連携について
- 第5回 平成28年7月27日
- 1 シラバス記載要領について
 - 2 キャリア教育、インターシップ分野について
 - 3 ナチュラルサイエンス分野について
 - 4 グローバルコミュニケーション（英語）について
 - 5 教材開発について
 - 6 大学における教材開発に関するコンテンツの課題等について
- 第6回 平成28年8月24日
- 1 シラバス記載要領について
 - 2 地域フィールドワーク分野について
 - 3 情報科学分野について
 - 4 カリキュラムセンター工程表及び分野別工程表と予算について
 - 5 学類選択他、規程、制度、仕組みの検討について
- 第7回 平成28年9月28日
- 1 部門別の進捗状況について（教育の具現化に向けて）
 - 2 教材開発の進捗状況について
 - 3 新シラバス作成の具体化と学修指導體制の確立にむけて
 - 4 新履修規程策定、成績評価方法の具体的検討について
 - 5 H28年度前期 授業評価結果（速報版）と授業改善、フィードバック等について
 - 6 H28年度前期 成績評価（分野、科目、専門）を踏まえての課題、改善について
 - 7 全学SDの結果報告、その活用及び今後のSD計画について
- 第8回 平成28年10月26日
- 1 基盤教育科目シラバス（案）のフィードバックと修正ポイント、スケジュールについて
 - 2 平成29年度カリキュラム及び時間割編成の考え方について
 - 3 平成29年度入学生のパソコン必携の対応について
 - 4 新カリキュラム履修規程（案）策定のポイントと今後のスケジュールについて
 - 5 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替検討について
 - 6 地域フィールドワークについて
- 第9回 平成28年11月30日
- 1 平成29年度からのカリキュラム編成方針及び時間割編成方針（案）について
 - 2 新カリキュラム履修規程（案）について
 - 3 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について
 - 4 基盤教育科目シラバス（第二次案）及び専門科目シラバス（案）のフィードバックと今後のスケジュールについて
 - 5 平成29年度年度計画策定・予算作成及び平成28年度年度計画暫定実績について
 - 6 3公立大学連携事業及び12月17日（土）開催シンポジウムについて
 - 7 平成28年度前期授業評価後の改善計画等について
 - 8 地域フィールドワークの進捗について
- 第10回 平成28年12月21日
- 1 新カリキュラム履修規程（案）について
 - 2 平成29年度カリキュラム編成方針及び基盤教育時間割編成方針（案）について
 - 3 基盤教育科目シラバス（第三次案）及び専門科目シラバス（第二次案）のフィードバックと今後のスケジュールについて
 - 4 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について（食産業学部の確認）
 - 5 平成29年度年度計画策定（案）・予算（案）及び平成28年度年度計画暫定実績（案）について
 - 6 平成28年度前期授業評価後の改善計画等について（基盤教育関係）
 - 7 地域フィールドワークの進捗について

第11回 平成29年1月25日

- 1 <新カリキュラム>宮城大学履修規程(案)について
- 2 シラバスについて
- 3 各科目の学修指導及び成績評価について
- 4 授業評価及び授業改善計画について
- 5 新カリキュラム科目における資格申請等について
- 6 平成29年度年度計画策定(案)・予算(案)及び平成28年度年度計画暫定実績(案)について
- 7 地域フィールドワークの進捗について

第12回 平成29年2月21日

- 1 宮城大学履修規程及び宮城大学学則の改正について
- 2 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について
- 3 各学部の授業改善計画について
- 4 新カリキュラム科目のシラバスについて
- 5 学位規則の改正について
- 6 他学群・他学類等授業科目の履修実施要綱について
- 7 その他
- 8 今後の授業評価等の方途について
- 9 各週の時間割について
- 10 地域フィールドワークの進捗について
- 11 教材(スタートアップセミナー/アカデミックセミナー), MAPについて

第13回 平成29年3月22日

- 1 宮城大学学則, 宮城大学履修規程, 他要綱の制定, 改正確定版について
- 2 1の制定・改正による下位要綱等の検討
- 3 各学部のH28年度前期授業改善計画の学生への公表及びH28年度後期授業改善, H29年度の授業評価について
- 4 H29年度高大接続連携事業年度計画及び連絡協議会設置について
- 5 H29年度3公立大学連携事業・奈良県立大学とのパイロットプログラムについて
- 6 各学群の資格申請結果等について
- 7 地域フィールドワークの進捗について
- 8 宮城大学アカデミックポートフォリオ(MAP)の学生への利用方法の周知及び専用バインダーの配布について
- 9 H29年度カリキュラムセンターの事業等の計画策定について

② 実施状況

a 実施内容

b 実施方法

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- 全学SD「教職協働で取り組む学生一人ひとりの学修支援に向けて」
 - ・平成28年8月22日(月)開催
 - ・役員8/8, 教員92/131, 事務職員43/52, 合計143/191名参加
 - ・講演及びワークショップを実施。後日グループレポート, 個人レポートを提出(提出率82%)
- スタートアップ・セミナー実施に向けたワークショップ
 - ・平成28年12月7日(水), 平成29年2月23日(木)開催
 - ・教員34名(延べ)参加
 - ・ワークショップ形式による, 指導方法に関する相互学習及び開発, ルーブリックの開発等
- 全学FD「新教育課程でのインターンシップ」
 - ・平成28年11月16日(水)開催
 - ・役員8/8, 教員62/131, 事務職員45/55, 合計115/194名参加
 - ・学外講師による講演, 学内講師による新課程での運営方法説明
- 看護学部FD「卒後も学び続ける人材育成につなげる看護学群」
 - ・平成28年8月10日(水)開催
 - ・看護学部教員46/50名出席
 - ・グループワーク形式
- 事業構想学部FD「フレッシュマンコア科目の概要と検討状況について」
 - ・平成29年2月8日(水)開催
 - ・事業構想学部教員28/34名出席
 - ・新課程に向けた情報共有と意見交換

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成29年度からの新課程に向けた授業の改善と学生に対する指導体制の在り方を中心に平成28年度は取り組んだ。8月に開催した全学SDでは、平成29年4月1日SD義務化の大学設置基準の改正に先立ち、全ての理事、教員及び事務職員を対象として、あるべき大学の姿や求められる学生サービスについて活発な議論を実施した。このSDでは、個人レポートに加えグループレポートも全員に課すことにより、各部門で発案されたテーマに基づきながら教育改善、授業改善に結びついたFD活動が発展的に実施された。

平成29年度からは、FD・SD活動をカリキュラムセンターがより主体的に企画運営し、3学群とも連携を強めながら、さらに体系的な教育改善・組織改善の体制を整備することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成28年度前期末（7月～8月）および後期末（2月～3月）にウェブ上でアンケートを実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価結果に基づき、各担当教員が授業改善計画を作成し、授業評価結果と併せて学内で公開。
- ・ 各教育課程（学部）全体での授業改善に向けた取組の実施計画を学部長が作成。
- ・ 上記の計画に基づき、平成29年度の授業が実施されているかカリキュラムセンターおよび第三者による確認を実施予定。
- ・ 学生の学修到達度を把握し、授業科目や教育課程それぞれの教育効果を測定できるよう、新しい授業評価アンケートシステムの導入に向けて準備を進めている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

食資源開発学類は、植物系および動物系食材の付加価値生産や水圏食資源の新たな開発について、幅広い科学的知識と技術を持ち、社会に貢献できる実践的な人材を育成する。フードマネジメント学類は、食品の製造加工から流通・外食を経て消費に至る食産業のプロセスについて、サイエンス（自然科学）とビジネス（社会科学）の両面から理解し、社会に貢献できる技術を持った実践的な人材を育成することを目的としている。

設置初年度の現段階では、新たに導入したフレッシュマンコアを中心とした基盤教育科目を開講しているが、1年後期からは、学類共通の科目として「食産業学総論」を開講する。こうした学群共通科目の展開により、2年次進級時の「学類選択・決定」の指針となり、かつ、学生自身が進む学類での体系化されたカリキュラムにつながる学修を初年次から深めていく。

カリキュラム編成にあたっては、教育推進機構の下に組織されたカリキュラムセンターが教学マネジメントの役割を担い、まず基盤教育の編成方針がより明確になるよう「ディプロマポリシー」、「カリキュラムポリシー」を策定した。また、その方針に基づき、基盤教育の基幹科目となるフレッシュマンコア科目の実施に向け、オリジナル教材の開発やルーブリックをはじめとする成績評価基準の策定等の整備をしてきた。

しかし、今年度より導入された「学群・学類・学系制」のメリットを最大限に生かし、学群・学類の垣根を超えて、基盤教育カリキュラムの運営実施・検証・改善に責任を持つ組織として「基盤教育群」を新設し、群長のもと教授会を立ち上げた。まさに、設置の趣旨で掲げた基盤教育の骨太化を具現化するための組織体制強化である。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、全学を挙げて、着実に取り組みを進めているところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 本学では、中期目標期間の第5年度に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、その前年度に、それまでの自己点検・評価をまとめ報告書として作成している。
- ・ 独立行政法人化の最初の認証評価は平成25年度であったため、上記のチームに基づき平成24年度末（25年3月）に自己点検・評価報告書を作成し、ホームページにおいて公表している。
- ・ 次回は平成31年度に認証評価を受審予定であり、その前年度である平成30年度末までに、それまでの自己点検・評価をまとめて報告書を作成することとしている。

b 公表方法

- ・ 本学ウェブサイトにて公表している。 <http://www.myu.ac.jp/site/co/25ninshou.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成25年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け、その結果、本学は大学基準に適合していることが認定された。
- ・ 次回は平成31年度に認証評価を受審予定である。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2017年5月31日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人宮城大学

(2) 大学名 宮城大学

(3) 大学の位置

〒981-3298
宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学部長		(ニシカワ マサズミ) 西川 正純 (平成29年4月)	届出時には学群長が未定 であったが、学内規程に よりH29.3.22定例理事会 にて決定(29)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
 平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
食産業学群 フードマネジメント学類 学士(食産業学)	農学関係	4年	63人	-	252人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	63 (-) [4]	-	-	-	-	-	-	-	1.05倍	入学時は, 一部の選抜区分を除き, 食産業学群としての学群一括入試のため, 学群全体を各学類で按分して記載しており, 2年次進級時に学類を決定して収容する。なお, 入学時に学類が決定している学生は, A0入試区分入学者9名, 外国人留学生入試区分2名の計11名である。(29)
志願者数	251 (-) [3]	(-) [-]								
受験者数	147 (-) [3]	(-) [-]								
合格者数	71 (-) [2]	(-) [-]								
B 入学者数	66 (-) [2]	(-) [-]								
入学定員超過率 B/A	1.05		-		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	66 [2] (-)	- [-] (-)	1年次の在学者については、一部の選抜区分を除き、食産業学群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、2年次進級時に学類を決定して収容する。なお、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学者9名、外国人留学生入試区分2名の計11名である。(29)						
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	66 [2] (-)	- [-] (-)							

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<食産業学群 フードマネジメント学類>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基盤教育科目	宮城大学の知の体系	1前	2			1						兼2		
	大学での学び入門	1前	1									兼1	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更(29)	
	社会の中で生きる	1前	1									兼1	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)	
	キャリアデザインⅠ	1後	1			+						兼1	専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更(29)	
	スタートアップ・セミナー	1前	2					2				兼1	兼3	少人数教育実施のため担当者追加
	アカデミック・セミナー	1後	2					2				兼1	兼3	少人数教育実施のため担当者追加
	地域フィールドワーク	1前	2									兼1	兼10	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
	情報化社会と技術	1後	2									兼1	兼2	時間割編成に伴う担当者変更, 複数クラス開講のため担当者追加(29)
	データサイエンス入門	1前	2									兼1	兼2	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更, 複数クラス開講のため担当者追加(29)
	English Reading SkillsⅠ	1前	1									兼5	兼3	新規教員採用に伴う担当者変更, 産休による担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1									兼5	兼2	産休による担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	English Reading SkillsⅡ	1後	1									兼5	兼3	新規教員採用に伴う担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1									兼5	兼3	時間割編成に伴う担当者変更, 産休による担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1									兼5		
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1									兼5		
	English for Academic PurposesⅡ	2後	1									兼3		
	Extensive Listening	2後	1									兼3		
	Practical English	2前	1									兼3		
	中国語Ⅰ	1・2後 1・2前	1									兼1		履修の順序性を考慮した配当学期の変更, 時間割編成に伴う担当者変更(29)
	中国語Ⅱ	1・2後	1									兼1		時間割編成に伴う担当者変更(29)
	韓国語Ⅰ	1・2前	1									兼1		
	韓国語Ⅱ	1・2前 1・2後	1									兼1		履修の順序性を考慮した配当学期の変更(29)
	ベトナム語Ⅰ	1・2休	1									兼1		
	ベトナム語Ⅱ	1・2休	1									兼1		
	Global StudiesⅠ	1・2後 1・2前	2									兼1		履修の順序性を考慮した配当学期の変更(29)
	Global StudiesⅡ	1・2前 1・2後	2									兼1		履修の順序性を考慮した配当学期の変更(29)
	Intercultural Communication	1・2後	2									兼1		
	全学自由ゼミ	1・2休	1									兼1		副学群長に担当者変更(29)
	日本の歴史と文化	1・2後	2									兼1		新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	世界の歴史と文化	1・2前	2									兼1		
東北の歴史と文化	1・2前	2									兼1		新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)	
音楽	1・2後	2									兼1		時間割編成に伴う担当者変更(29)	
美術	1・2前	2									兼1	兼3	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)	
アートサイエンス概論	1前	1									兼9		複数領域にまたがる芸術等講義科目を追加開講, 履修者なしのため本年度は未開講(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤教育科目	総合芸術	1集中	1								兼8	芸術等科目の実習科目を追加開講(29)
	健康科学	1・2後	2			1	1				兼2	時間割編成に伴う担当者変更(29)
	スポーツ科学	1・2後	1								兼1	
	スポーツ実技	1・2後	1								兼1	
	体を動かす楽しみ	1・2前	1								兼1	
	現代社会と哲学	1・2後	2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	人と宗教	1・2後	2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	心理学	1・2後	2								兼1	
	現代社会の諸相	1・2前	2								兼1	
	憲法	1・2前	2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	社会と経済	1・2前	2								兼1	時間割編成に伴う担当者変更(29)
	数理科学	1・2後	2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	生命科学	1・2後	2								兼1	
	環境科学入門	1・2前	2			1					兼1	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)
	地球と宇宙	1・2前	2								兼1	
	数学概論	1・2後	2								兼1 兼2	新規専任教員採用に伴う担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加(29)
	物理概論	1・2後	2								兼1	時間割編成に伴う担当者変更(29)
	化学概論	1・2前	2	2		1	1					複数クラス開講のため担当者追加(29)
	生物概論	1・2前	2	2							兼1 兼2	時間割編成に伴う担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加(29)
	基礎統計学	1後	2								兼1 兼2	時間割編成に伴う担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加(29)
	日本語Ⅰ	1前	1								兼1	
	日本語Ⅱ	1後	1								兼1	
	日本語Ⅲ	2前	1								兼1	
日本語Ⅳ	2後	1								兼1		
日本事情Ⅰ	1前	2								兼1	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)	
日本事情Ⅱ	1後	2								兼1	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)	
全学共通科	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前	2								兼1	
	コミュニティ・プランナー実践論	2後		2							兼1	
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前		2							兼1	
	グローバルインターンシップ	1・2休	2								兼1	
	学外研修	1・2休	2								兼1	
専門基礎科目	食産業学概論	1後	2			1	1				兼3	昇任に伴う変更(29)
	有機化学	2前	2				1					
	経済経営学基礎	2前	2			1						
	科学基礎実験	2前	1				2				兼1	
	食材生産・加工実習Ⅰ	2前	1			1	1				兼1	
	応用情報処理	2前	2						1		兼1	
	応用統計学	2前	2			1						
	キャリアデザインⅡ	2前	1			1						
	インターンシップⅠ	2前	2								兼1	
	微生物学	2後	2					1				
	環境科学	2後	2								兼1	
	生化学	2後	2					1				
	専門基礎実験	2後	1				2					
	食材生産・加工実習Ⅱ	2後	1			1	1				兼1	
	キャリア開発Ⅰ	2後	1								兼1	
	食料・農業・農村政策	3前	2					1				
	キャリア開発Ⅱ	3前	1								兼1	
	インターンシップⅡ	3前		2							兼1	
	キャリア開発Ⅲ	3後	1								兼1	
	フードコミュニケーション	4前	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門科目	共通科目	食材生産概論	2前	2								兼1 兼1				
		食品企業経営論	2後	2												
		食品マーケティング論	2後	2				1								
		食品化学	2後	2				1								
		農産食品学	2後	2				1								
		食品衛生学	3前	2				1								
		栄養科学	3前	2				1								
		食品の安全性管理	3後	2			1									
		品質保証システム演習	3後	1				1								
		食と未来	4後	2			1									
	食産業経営科目	A区分	食料経済論	3前	2			1				兼1				
			食品流通・情報論	3前	2			1								
食品企業経営戦略論		3前	2			1										
フードシステム調査演習		3前	1					1								
B区分	食産業政策論	3後	2				1									
	フードサービス産業論	3後	2													
	食品マーケティング演習	3後	1				1		1							
	食品企業経営戦略演習	3後	1			1										
食生産・管理科学科目	A区分	食品経済・政策論演習	3後	1			1	1			兼1 兼1					
		フードサービス産業論演習	4前	1												
専門関連科目	B区分	フードシステム解析演習	4前	1							兼1 兼1					
		畜産食品学	2後	2				1								
		水産食品学	2後	2			1	1								
		食品工学	3前	2				1								
	B区分	食品衛生学実験	3前	1			1	1			兼1					
		食品機能開発学	3後	2			1	1								
		食品貯蔵・流通技術論	3後	2				2								
		発酵食品・醸造学	3後	2				1								
専門関連科目	B区分	食品栄養・機能学実験	3後	1				2			兼1 兼1 兼1					
		食品化学実験	3後	1			1	6								
		ローカルフードシステム論	3前	2						1						
		グローバルフードシステム論	3後	2				1								
		調理科学	3後	2				1								
		企業倫理	4前	2			1	1								
		食感性科学	4前	2				1		1						
		ライフステージ栄養学	4前	2			1									
解剖・生理学	4前	2														
卒業研究	B区分	食材生産経営学	3後	2							兼1 兼1 兼1					
		食産業・政策史	4前	2				1								
		食品物理化学	3前	2												
		分子生物学	3前	2												
		水産資源学	4前	2			1									
		卒業研究サーベイ	3後	2			4	6	8	6		1	4	0	兼1 兼1	昇任に伴う変更，研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減(29)
		卒業研究	4通	6			4	6	8	6		1	4	0		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
47	78	2	127	49	78	2	129	
				[2]	[]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

<食産業学群 フードマネジメント学類>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{127} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	66,769 m ²	-	-	66,769 m ²				
	運動場用地	26,661 m ²	-	-	26,661 m ²				
	小 計	93,430 m ²	-	-	93,430 m ²				
	そ の 他	598,964 m ²	-	-	598,964 m ²				
	合 計	692,394 m ²	-	-	692,394 m ²				
(2) 校 舎	専 用	60,137 m ²	-	-	60,137 m ²				
	(60,137m ²)	(-)	(-)	(-)	(60,137m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	28 27 室	演 習 室 36 室	実験実習室 33 32 室	情報処理学習施設 6 室 (補助職員 人)	語学学習施設 2 室 (補助職員 人)			
	施設改修のため(29)								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		施設利用方法の見直しのため (29)			
	食産業学群 食資源開発学類			27 室					
	食産業学群 フードマネジメント学類			28 27 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	蔵書見直しのため(29)	
		冊	種	〔うち外国書〕					
	食産業学群	71,572 [7,268] 77,943 [9,537] (68,572 [7,118]) (59,526 [7,017])	2,505 [280] 4,447 [552] (2,489 [268]) (2,967 [352])	16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (16,172 [13,595]) (18,000 [15,700])	2,332 2,478 (2,212) (2,118)	-	-		-
	計	71,572 [7,268] 77,943 [9,537] (68,572 [7,118]) (59,526 [7,017])	2,505 [280] 4,447 [552] (2,489 [268]) (2,967 [352])	16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (16,172 [13,595]) (18,000 [15,700])	2,332 2,478 (2,212) (2,118)	-	-		-
(6) 図 書 館	面 積		観 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 レイアウト見直しのため(29)		
	3,136m ²		304 300		274,889				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	4,897m ²		テニスコート		メモリアルホール				
			トレーニング室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当たり研究費は教員数増加に伴う研究費配分の見直しのため(29) 図書購入費は一部電子ジャーナル契約終了のため(29) 設備購入費は平成29年度予算編成に伴うもの(29)
		教員1人当たり研究費等	231 247千円	247千円	図書購入費	66,728千円	64,426 66,728千円	66,728千円	
	共同研究費等	51,000千円	51,000千円	設備購入費	51,776千円	41,639 51,776千円	51,776千円		
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		県内 818千円 県外 1,100千円	535千円	535千円	535千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要			大学の維持運営に当たって、学生納付金で不足する経費については、宮城県県の運営費交付金等を充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	宮城大学						備 考		
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
事業構想学部							平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	平成29年度より 学生募集停止
事業計画学科	4	100	-	400	学士 (事業計画学)	-	平成9年度		平成29年度より 学生募集停止
デザイン情報学科	4	100	-	400	学士 (デザイン 情報学)	-	平成9年度		平成29年度より 学生募集停止
食産業学部							平成17年度	宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	平成29年度より 学生募集停止
ファームビジネス学科	4	42	-	168	学士 (食産業学)	-	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
フードビジネス学科	4	52	-	208	学士 (食産業学)	-	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
環境システム学科	4	31	-	124	学士 (食産業学)	-	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
看護学群							平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	平成29年度より 看護学部から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
看護学類	4	95	5	380	学士 (看護学)	1.04	平成9年度		平成29年度より 看護学科から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
事業構想学群							平成29年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
事業プランニング学類	4	60	-	240	学士 (事業プラン ニング学)	1.05	平成29年度		入学時は、一部の選抜区分 を除き、事業構想学群とし ての学群一括入試のため、 学群全体を各学類で按分し て記載しており、2年次進 級時に学類を決定して収容 する。
地域創生学類	4	60	-	240	学士 (地域創生学)	1.05	平成29年度		
価値創造デザイン学類	4	80	-	320	学士 (価値創造 デザイン学)	1.05	平成29年度		
食産業学群							平成29年度	宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	
食資源開発学類	4	62	-	248	学士 (食産業学)	1.03	平成29年度		入学時は、一部の選抜区分 を除き、食産業学群とし ての学群一括入試のため、 学群全体を各学類で按分し て記載しており、2年次進 級時に学類を決定して収容 する。
フードマネジメント学類	4	63	-	252	学士 (食産業学)	1.05	平成29年度		
看護学研究科 看護学専攻								宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
博士課程前期2年課程	2	10	-	20	修士 (看護学)	0.95	平成13年度		
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (看護学)	0.99	平成22年度		
事業構想学研究科 事業構想学専攻								宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
博士課程前期2年課程	2	20	-	40	修士 (事業構想学)	0.62	平成13年度		
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (事業構想学)	0.88	平成20年度		
食産業学研究科 食産業学専攻								宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	
博士課程前期2年課程	2	13	-	26	修士 (食産業学)	0.61	平成21年度		
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (食産業学)	0.55	平成25年度		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

・A・C対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<食産業学群 フードマネジメント学類>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	石田光晴(63)	平成29年4月	畜産食品学 科学基礎実験 食材生産・加工実習Ⅰ 食材生産・加工実習Ⅱ						
兼任	講師	石田光晴(65)	平成31年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究					卒業研究サーベイ 卒業研究	研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減(29)
専	教授	川村保(59)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 キャリアデザインⅠ	兼任	講師	須藤祐子(42)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ	専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更(29)
専	教授	西川正純(57)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 宮城大学の知の体系 ※ 食品の安全性管理 水産食品学 ライフステージ栄養学 食品機能開発学 食材生産・加工実習Ⅰ 食品化学実験 食と未来 食材生産・加工実習Ⅱ						
専	教授	三石誠司(56)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 食品企業経営戦略論 企業倫理 食品企業経営戦略演習						
専	教授	笠原紳(52)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 食品衛生学実験 水産資源学	専	教授	笠原紳(52)	平成29年4月	化学概論 環境科学入門	複数クラス開講のため担当者追加(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)
専	准教授	石川伸一(43)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 農産食品学 畜産食品学 食品機能開発学 調理科学 食品化学実験 食品栄養・機能学実験	専	教授	石川伸一(43)	平成29年4月	健康科学	時間割編成に伴う担当者変更(29)
専	准教授	金内誠(45)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 食産業学概論 ※ 発酵食品・醸造学 微生物学 生化学 食品化学実験 専門基礎実験	専	教授				業績追加による昇格(29)
専	准教授	君塚道史(41)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 食品工学 食品貯蔵・流通技術論 食品化学実験 科学基礎実験 食材生産・加工実習Ⅰ 食材生産・加工実習Ⅱ						
専	准教授	菰田俊一(47)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 化学概論 食品衛生学 有機化学 食品衛生学実験 食品化学実験 品質保証システム演習	専	准教授	菰田俊一(47)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
専	准教授	白川愛子(54)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 健康科学 ※ 栄養科学 食感科学 食品化学実験 食品栄養・機能学実験	専	教授	石川伸一(43)	平成29年4月	健康科学	時間割編成に伴う担当者変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	都世蘭(59)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 食品マーケティング論 食品流通・情報論 食品マーケティング演習						
専	准教授	毛利哲(52)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 食品貯蔵・流通技術論 水産食品学 食品化学実験 科学基礎実験 専門基礎実験 食品化学	専	准教授	毛利哲(52)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
専	准教授	森田明(52)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 食産業政策論 食料・農業・農村政策 食産業・政策史 企業倫理 食品経済・政策論演習 グローバルフードシステム論						
専	助教	谷口葉子(43)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究 ローカルフードシステム論 食感性科学 応用統計学 フードシステム調査演習 食品マーケティング演習	専	講師				業績追加による昇格(29)
兼任	教授	吉田俊子(53)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※						
兼任	教授	風見正三(57)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※ 地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー概論及び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習						
兼任	教授	木村和彦(55)	平成29年4月	大学での学び入門 スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 全学自由ゼミ	兼任	教授	蒔苗耕司(52)	平成29年4月	大学での学び入門	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更(29)
					兼任	教授	中村茂雄(54)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	学群の科目とりまとめの教員へ変更(29) 学群の科目とりまとめの教員へ変更(29)
					兼任	教授	井上達志(56)	平成29年4月	全学自由ゼミ	副学群長に担当者変更(29)
兼任	教授	徳永幸之(57)	平成29年4月	社会の中で生きる	兼任	教授	藤澤由和(48)	平成29年4月	社会の中で生きる	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)
兼任	教授	茅原拓朗(48)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	兼任	准教授	高橋信人(40)	平成29年4月	情報化社会と技術	時間割編成に伴う担当者変更(29)
					兼任	准教授	萩原潤(45)	平成29年4月	データサイエンス入門	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)
兼任	教授	MATTHEW WILSON(44)	平成29年4月	English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English	兼任	准教授	川井一枝(58)	平成29年4月	English Reading Skills I	新規教員採用に伴う担当者変更(29)
					兼任	准教授	川井一枝(58)	平成29年4月	English Reading Skills II	新規教員採用に伴う担当者変更(29)
兼任	教授	TIMOTHY PHELAN(59)	平成29年4月	Global Studies I Global Studies II Intercultural Communication グローバルインターンシップ 学外研修						
兼任	教授	長澤治夫(64)	平成29年4月	健康科学 ※						
兼任	講師	長澤治夫(65)	平成30年4月	健康科学 ※ 解剖・生理学						
兼任	教授	真覚健(58)	平成29年4月	健康科学 ※						
兼任	教授	山田嘉明(61)	平成29年4月	心理学						
兼任	教授	原田茂樹(54)	平成29年4月	環境科学入門 環境科学 インターンシップII						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	河西敏幸(49)	平成29年4月	スポーツ科学 スポーツ美技 体を動かす楽しみ	兼任	教授	河西敏幸(49)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
兼任	教授	弓谷行宏(61)	平成29年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ						
兼任	教授	弓谷行宏(61)	平成29年4月	日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	兼任	准教授	山本まゆみ(57)	平成29年4月	日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29) 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)
兼任	教授	井上達志(56)	平成29年4月	食産業学概論 ※ 食材生産概論	兼任	教授	井上達志(56)	平成29年4月	全学自由ゼミ	副学群長に担当者変更(29)
兼任	教授	小林仁(56)	平成29年4月	キャリア開発Ⅰ	兼任	教授	小林仁(56)	平成29年4月	生物概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)
兼任	教授	中村聡(49)	平成29年4月	食産業学概論 ※						
兼任	教授	岩井孝尚(50)	平成29年4月	分子生物学	兼任	教授	岩井孝尚(50)	平成29年4月	生物概論	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	教授	須田義人(48)	平成29年4月	キャリア開発Ⅲ	兼任	教授	須田義人(48)	平成29年4月	データサイエンス入門 基礎統計学	複数クラス開講のため担当者追加(29) 時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	石田祐(37)	平成29年4月	現代社会の諸相						
兼任	准教授	金子浩一(44)	平成29年4月	社会と経済	兼任	准教授	川島滋和(45)	平成29年4月	社会と経済	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	小島(栗田)さつき(41)	平成29年4月	English Reading SkillsⅠ English Self-ExpressionⅠ English Reading SkillsⅡ English Self-ExpressionⅡ English for Academic PurposesⅠ English Self-ExpressionⅢ English for Academic PurposesⅡ Extensive Listening Practical English	兼任	講師	菅原真理(57)	平成29年4月	English Reading SkillsⅠ	産休による担当者変更(29)
					兼任	講師	CRAIG McDONALD(44)	平成29年4月	English Self-ExpressionⅠ	産休による担当者変更(29)
					兼任	講師	CRAIG McDONALD(44)	平成29年4月	English Reading SkillsⅡ	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
					兼任	講師	CRAIG McDONALD(44)	平成29年4月	English Self-ExpressionⅡ	産休による担当者変更(29)
兼任	准教授	曾根洋明(54)	平成29年4月	English Reading SkillsⅠ English Self-ExpressionⅠ English Reading SkillsⅡ English Self-ExpressionⅡ English for Academic PurposesⅠ English Self-ExpressionⅢ English for Academic PurposesⅡ Extensive Listening Practical English					English Reading SkillsⅠ	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
									English Self-ExpressionⅠ	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
									English Self-ExpressionⅡ	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
兼任	准教授	山本まゆみ(57)	平成29年4月	世界の歴史と文化	兼任	准教授	山本まゆみ(57)	平成29年4月	日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29) 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)
兼任	准教授	土岐謙次(48)	平成29年4月	美術	兼任	准教授	土岐謙次(48)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
兼任	准教授	萩原潤(45)	平成29年4月	基礎統計学	兼任	教授	須田義人(48)	平成29年4月	基礎統計学	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	萩原潤(45)	平成29年4月		兼任	准教授	萩原潤(45)	平成29年4月	データサイエンス入門	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)
兼任	准教授	高橋信人(40)	平成29年4月	地球と宇宙	兼任	准教授	高橋信人(40)	平成29年4月	情報化社会と技術	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	原田龍一郎(50)	平成29年4月	物理概論	兼任	教授	富樫千之(63)	平成29年4月	物理概論	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	日渡祐二(45)	平成29年4月	生命科学 生物概論	兼任	教授	岩井孝尚(50)	平成29年4月	生物概論	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	准教授	川島滋和(45)	平成29年4月	食産業学概論 ※ 食材生産経営学 キャリア開発Ⅱ フードシステム解析演習	兼任	准教授	川島滋和(45)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 基礎統計学 社会と経済	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29) 複数クラス開講のため担当者追加(29) 時間割編成に伴う担当者変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	准教授	老川信也(57)	平成29年4月		兼任	准教授	老川信也(57)	平成29年4月	情報化社会と技術	複数クラス開講のため担当者追加(29)	
				応用情報処理							
兼任	准教授	堀田宗徳(60)	平成29年4月	フードサービス産業論 食品企業経営論 フードサービス産業論演習							
兼任	講師	伊吹直太(40)	平成29年4月	インターンシップI							
兼任	講師	佐藤麗(41)	平成29年4月	English Reading Skills I					English-Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減(29)	
				English Self-Expression I							
				English Reading Skills II						English-Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English Self-Expression II							
兼任	助教	MATTHEW NALL(33)	平成29年4月	English Reading Skills I					English-Reading-Skills-I	クラス数の減に伴う担当者の減(29)	
				English Self-Expression I						English-Self-Expression-I	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English Reading Skills II						English-Reading-Skills-II	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English Self-Expression II	兼任	講師	JERRY MILLER(44)	平成29年4月	English Self-Expression II	時間割編成に伴う担当者変更(29)	
				English for Academic Purposes I							
				English Self-Expression III							
兼任	講師	叢莉蔓(48)	平成29年4月	中国語 I 中国語 II	兼任	講師	西貝定行(50)	平成29年4月	中国語 I 中国語 II	時間割編成に伴う担当者変更(29) 時間割編成に伴う担当者変更(29)	
兼任	講師	黄考善(49)	平成29年4月	韓国語 I 韓国語 II							
兼任	講師	VU THUY MINH CHAU(43)	平成29年4月	ベトナム語 I ベトナム語 II							
兼任	講師	伊藤大介(43)	平成29年4月	日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	兼任	准教授	三好俊文(41)	平成29年4月	日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)	
兼任	講師	佐藤寿一(56)	平成29年4月	音楽	兼任	講師	渡部勝彦(71)	平成29年4月	音楽	時間割編成に伴う担当者変更(29)	
兼任	講師	佐藤駿(33)	平成29年4月	現代社会と哲学	兼任	准教授	菅原謙(52)	平成29年4月	現代社会と哲学	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)	
兼任	講師	木村敏明(50)	平成29年4月	人と宗教					人と宗教	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)	
兼任	講師	曾我洋介(39)	平成29年4月	憲法	兼任	講師	仲宗根卓(35)	平成29年4月	憲法	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)	
兼任	講師	小野秀壽(63)	平成29年4月	数理科学 数学概論	兼任	准教授	三浦幸平(39)	平成29年4月	数理科学 数学概論	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)	
兼任	講師	池戸重信(70)	平成32年4月	フードコミュニケーション							
兼任	講師	鈴木康夫(67)	平成31年4月	食品物理化学							
					兼任	教授	郷古雅春(57)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)	
					兼任	教授	平岡善浩(50)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)	
					兼任	教授	舟引敏明(59)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)	
					兼任	准教授	佐々木秀之(41)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)	
					兼任	准教授	千葉克己(46)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)	
					兼任	准教授	三浦幸平(39)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)	
					兼任	准教授	菅原謙(52)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)	
					兼任	准教授	三好俊文(41)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)	
					兼任	講師	仲宗根卓(35)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)	
					兼任	准教授	菊地(今野)郁(43)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)	
					兼任	教授	中田千彦(48)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)	
					兼任	教授	鹿野護(44)	平成29年4月	アートサイエンス概論	追加開講科目(29)	
					兼任	講師	渡部勝彦(71)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)	
					兼任	講師	相澤富美江(52)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	高山登 (72)	平成29年4月	アートサイエンス概論 美術 総合芸術	追加開講科目(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	青野文昭 (49)	平成29年4月	アートサイエンス概論 美術 総合芸術	追加開講科目(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	渡辺誠一郎 (66)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	上野晴夫 (62)	平成29年4月	数学概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)

- (注)
- ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
4	8	0	1	13	7	6	1	0	14	6	6	1	0	13
(5)	(8)	(0)	(1)	(14)						[2]	[Δ2]	[1]	[Δ1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

<食産業学群 フードマネジメント学類>

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし								
合計（A）					後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし								

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし								
合計（A）					後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし								

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A） + (C)		後任補充状況の集計（B） + (D)		
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当なし				

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (H28年4月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<食産業学群 フードマネジメント学類>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成28年4月より、教育推進機構を設置し、全学的な教学マネジメントを実施している。特に機構下部組織のカリキュラムセンターが教員の資質の維持向上の方策について所掌しており、授業評価アンケート、シラバスの改善、FD・SDの企画・運営を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<カリキュラムセンター運営会議>

平成28年度は13回開催

第1回 平成28年4月27日

第2回 平成28年5月11日

第3回 平成28年5月25日

第4回 平成28年6月22日

第5回 平成28年7月27日

第6回 平成28年8月24日

第7回 平成28年9月28日

第8回 平成28年10月26日

第9回 平成28年11月30日

第10回 平成28年12月21日

第11回 平成29年1月25日

第12回 平成29年2月21日

第13回 平成29年3月22日

c 委員会の審議事項等

<カリキュラムセンター運営会議>

平成28年度

第1回 平成28年4月27日

1 役割分担と今後のスケジュール等について

2 ディプロマ・カリキュラム・アドミッションポリシーの策定について

3 平成28年度前期授業評価等について

4 フレッシュマンコア等の教材開発の進捗について

5 文部科学省への届出等の提出について

6 文部科学省補助事業「AP事業」の申請について

第2回 平成28年5月11日

1 科目分野別課題共有

2 平成28年度前期授業評価等について

- 第3回 平成28年5月25日
- 1 カリキュラムセンターの主項目及び科目分野別業務工程表について
 - 2 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー策定について
 - 3 科目分野別の課題について
 - 4 基盤教育科目の教材開発について
 - 5 平成28年度 F D・S Dの実施計画について
 - 6 学類選択スキームと成績評価等（G P A）について
- 第4回 平成28年6月22日
- 1 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー（案）について
 - 2 各学群での取得可能資格の申請手続き等について
 - 3 学類選択フローの考え方について
 - 4 新カリキュラム（フレッシュマンコア）科目担当教員の配置と教材開発等について
 - 5 平成28年度補正予算・平成29年度当初予算策定に向けて
 - 6 平成29年度非常勤教員任用方針及び予算編成について
 - 7 平成28年度 F D・S Dの実施計画について
 - 8 平成28年度前期 授業評価アンケート実施について
 - 9 3大学連携について
- 第5回 平成28年7月27日
- 1 シラバス記載要領について
 - 2 キャリア教育、インターシップ分野について
 - 3 ナチュラルサイエンス分野について
 - 4 グローバルコミュニケーション（英語）について
 - 5 教材開発について
 - 6 大学における教材開発に関するコンテンツの課題等について
- 第6回 平成28年8月24日
- 1 シラバス記載要領について
 - 2 地域フィールドワーク分野について
 - 3 情報科学分野について
 - 4 カリキュラムセンター工程表及び分野別工程表と予算について
 - 5 学類選択他、規程、制度、仕組みの検討について
- 第7回 平成28年9月28日
- 1 部門別の進捗状況について（教育の具現化に向けて）
 - 2 教材開発の進捗状況について
 - 3 新シラバス作成の具体化と学修指導體制の確立にむけて
 - 4 新履修規程策定、成績評価方法の具体的検討について
 - 5 H28年度前期 授業評価結果（速報版）と授業改善、フィードバック等について
 - 6 H28年度前期 成績評価（分野、科目、専門）を踏まえての課題、改善について
 - 7 全学SDの結果報告、その活用及び今後のSD計画について
- 第8回 平成28年10月26日
- 1 基盤教育科目シラバス（案）のフィードバックと修正ポイント、スケジュールについて
 - 2 平成29年度カリキュラム及び時間割編成の考え方について
 - 3 平成29年度入学生のパソコン必携の対応について
 - 4 新カリキュラム履修規程（案）策定のポイントと今後のスケジュールについて
 - 5 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替検討について
 - 6 地域フィールドワークについて
- 第9回 平成28年11月30日
- 1 平成29年度からのカリキュラム編成方針及び時間割編成方針（案）について
 - 2 新カリキュラム履修規程（案）について
 - 3 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について
 - 4 基盤教育科目シラバス（第二次案）及び専門科目シラバス（案）のフィードバックと今後のスケジュールについて
 - 5 平成29年度年度計画策定・予算作成及び平成28年度年度計画暫定実績について
 - 6 3公立大学連携事業及び12月17日（土）開催シンポジウムについて
 - 7 平成28年度前期授業評価後の改善計画等について
 - 8 地域フィールドワークの進捗について
- 第10回 平成28年12月21日
- 1 新カリキュラム履修規程（案）について
 - 2 平成29年度カリキュラム編成方針及び基盤教育時間割編成方針（案）について
 - 3 基盤教育科目シラバス（第三次案）及び専門科目シラバス（第二次案）のフィードバックと今後のスケジュールについて
 - 4 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について（食産業学部の確認）
 - 5 平成29年度年度計画策定（案）・予算（案）及び平成28年度年度計画暫定実績（案）について
 - 6 平成28年度前期授業評価後の改善計画等について（基盤教育関係）
 - 7 地域フィールドワークの進捗について

第11回 平成29年1月25日

- 1 <新カリキュラム>宮城大学履修規程（案）について
- 2 シラバスについて
- 3 各科目の学修指導及び成績評価について
- 4 授業評価及び授業改善計画について
- 5 新カリキュラム科目における資格申請等について
- 6 平成29年度年度計画策定（案）・予算（案）及び平成28年度年度計画暫定実績（案）について
- 7 地域フィールドワークの進捗について

第12回 平成29年2月21日

- 1 宮城大学履修規程及び宮城大学学則の改正について
- 2 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について
- 3 各学部の授業改善計画について
- 4 新カリキュラム科目のシラバスについて
- 5 学位規則の改正について
- 6 他学群・他学類等授業科目の履修実施要綱について
- 7 その他
- 8 今後の授業評価等の方途について
- 9 各週の時間割について
- 10 地域フィールドワークの進捗について
- 11 教材（スタートアップセミナー／アカデミックセミナー）、MAPについて

第13回 平成29年3月22日

- 1 宮城大学学則、宮城大学履修規程、他要綱の制定、改正確定版について
- 2 1の制定・改正による下位要綱等の検討
- 3 各学部のH28年度前期授業改善計画の学生への公表及びH28年度後期授業改善、H29年度の授業評価について
- 4 H29年度高大接続連携事業年度計画及び連絡協議会設置について
- 5 H29年度3公立大学連携事業・奈良県立大学とのパイロットプログラムについて
- 6 各学群の資格申請結果等について
- 7 地域フィールドワークの進捗について
- 8 宮城大学アカデミックポートフォリオ（MAP）の学生への利用方法の周知及び専用バインダーの配布について
- 9 H29年度カリキュラムセンターの事業等の計画策定について

② 実施状況

a 実施内容

b 実施方法

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 全学SD「教職協働で取り組む学生一人ひとりの学修支援に向けて」
 - ・平成28年8月22日（月）開催
 - ・役員8/8, 教員92/131, 事務職員43/52, 合計143/191名参加
 - ・講演及びワークショップを実施。後日グループレポート, 個人レポートを提出（提出率82%）
- スタートアップ・セミナー実施に向けたワークショップ
 - ・平成28年12月7日（水）, 平成29年2月23日（木）開催
 - ・教員34名（延べ）参加
 - ・ワークショップ形式による, 指導方法に関する相互学習及び開発, ルーブリックの開発等
- 全学FD「新教育課程でのインターンシップ」
 - ・平成28年11月16日（水）開催
 - ・役員8/8, 教員62/131, 事務職員45/55, 合計115/194名参加
 - ・学外講師による講演, 学内講師による新課程での運営方法説明
- 看護学部FD「卒後も学び続ける人材育成につなげる看護学群」
 - ・平成28年8月10日（水）開催
 - ・看護学部教員46/50名出席
 - ・グループワーク形式
- 事業構想学部FD「フレッシュマンコア科目の概要と検討状況について」
 - ・平成29年2月8日（水）開催
 - ・事業構想学部教員28/34名出席
 - ・新課程に向けた情報共有と意見交換

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成29年度からの新課程に向けた授業の改善と学生に対する指導体制の在り方を中心に平成28年度は取り組んだ。8月に開催した全学SDでは、平成29年4月1日SD義務化の大学設置基準の改正に先立ち、全ての理事、教員及び事務職員を対象として、あるべき大学の姿や求められる学生サービスについて活発な議論を実施した。このSDでは、個人レポートに加えグループレポートも全員に課すことにより、各部門で発案されたテーマに基づきながら教育改善、授業改善に結びついたFD活動が発展的に実施された。平成29年度からは、FD・SD活動をカリキュラムセンターがより主体的に企画運営し、3学群とも連携を強めながら、さらに体系的な教育改善・組織改善の体制を整備することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成28年度前期末（7月～8月）および後期末（2月～3月）にウェブ上でアンケートを実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価結果に基づき、各担当教員が授業改善計画を作成し、授業評価結果と併せて学内で公開。
- ・各教育課程（学部）全体での授業改善に向けた取組の実施計画を学部長が作成。
- ・上記の計画に基づき、平成29年度の授業が実施されているかカリキュラムセンターおよび第三者による確認を実施予定。
- ・学生の学修到達度を把握し、授業科目や教育課程それぞれの教育効果を測定できるよう、新しい授業評価アンケートシステムの導入に向けて準備を進めている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

フードマネジメント学類では、農畜水産業により供給される食材を加工し、付加価値のついた加工食品として供給する食品工業、消費者や実需者のニーズを的確にとらえ、安全かつ安心な生鮮食料品及び加工食品を供給する食品流通業、また食品そのもののみならずサービスも付加して食事を提供する外食・中食産業などを対象に、高品質・高機能な食品を、適切な価格で、安定的かつ安全に供給する仕組みについて、サイエンスとビジネスの両面から知識を身につけ、複眼的思考により問題解決に当たる能力を備えた人材を育成することを目的としている。

設置初年度の現段階では、新たに導入したフレッシュマンコアを中心とした基盤教育科目を開講しているが、1年後期からは、学類共通の科目として「食産業学総論」を開講する。こうした学群共通科目の展開により、2年次進級時の「学類選択・決定」の指針となり、かつ、学生自身が進む学類での体系化されたカリキュラムにつながる学修を初年次から深めていく。

カリキュラム編成にあたっては、教育推進機構の下に組織されたカリキュラムセンターが教学マネジメントの役割を担い、まず基盤教育の編成方針がより明確になるよう「ディプロマポリシー」、「カリキュラムポリシー」を策定した。また、その方針に基づき、基盤教育の基幹科目となるフレッシュマンコア科目の実施に向け、オリジナル教材の開発やルーブリックをはじめとする成績評価基準の策定等の整備をしてきた。

しかし、今年度より導入された「学群・学類・学系制」のメリットを最大限に生かし、学群・学類の垣根を超えて、基盤教育カリキュラムの運営実施・検証・改善に責任を持つ組織として「基盤教育群」を新設し、群長のもと教授会を立ち上げた。まさに、設置の趣旨で掲げた基盤教育の骨太化を具現化するための組織体制強化である。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、全学を挙げて、着実に取り組みを進めているところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・本学では、中期目標期間の第5年度に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、その前年度に、それまでの自己点検・評価をまとめ報告書として作成している。
- ・独立行政法人化の最初の認証評価は平成25年度であったため、上記のチームに基づき平成24年度末（25年3月）に自己点検・評価報告書を作成し、ホームページにおいて公表している。
- ・次回は平成31年度に認証評価を受審予定であり、その前年度である平成30年度末までに、それまでの自己点検・評価をまとめて報告書を作成することとしている。

b 公表方法

- ・本学ウェブサイトにて公表している。 <http://www.myu.ac.jp/site/co/25ninshou.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け、その結果、本学は大学基準に適合していることが認定された。
- ・次回は平成31年度に認証評価を受審予定である。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2017年5月31日)